

認定心理士資格の基礎条件

認定心理士資格の取得には以下の **3 条件** を満たす必要があります

※詳細は **認定心理士関係諸規則** を参照してください。

条件
1

**四年制大学を卒業し学士の学位を取得
もしくは
大学院修士課程を修了し修士の学位を取得**

条件
2

**16歳以降通算 2 年以上
日本に滞在した経験を有していること**

条件
3

**認定心理士認定資格細則が指定する
心理学関係の所定の単位を修得**

基準改定について

この手引きは、**2014年の基準改定**に基づいています。

主な改定点	改定前	改定後
基礎科目の単位数	a, b 領域それぞれ 4 単位以上 c 領域 3 単位以上	a, c 領域それぞれ 4 単位以上 b, c 領域の合計が 8 単位以上
単位分割申請	—	b, c 領域にまたがる科目は単位を 分割して申請可能
シラバスの提出	b, c 領域	a, b, c 領域

※2019年 3月31までに、申請書類が日本心理学会事務局に到着したものに限り、旧基準での審査が可能です。
旧基準での審査を希望する場合は、「資格申請の手引き 第4.1版」を参照し、旧書類で申請をしてください。

必要な認定単位数について（単位認定基準）

基本主題と副次主題 → 申請科目名例一覧

基本主題：各領域で認定心理士に求められる最も重要な必修的知識または技術の科目

副次主題：基本主題としては認められないが、当該領域に含まれる科目

※副次主題の認定単位数は開講単位数の**半数**となります。

基礎科目（a, b, c領域）

必要な**認定単位数**は以下の通り

a領域 4 単位以上
bc領域： 8 単位以上

かつ

最低 4 単位分は
c領域の単位

a領域の科目について

領域全体で、心理学の基礎分野を満たすこと

c領域の科目について

実験的方法で知覚や認知，社会など基本的な内容の課題を4つ以上含む**計6課題以上**。

各課題について**標準的レポート※1**を作成していること

※1 各課題について目的，方法，結果，考察を含むものであること

選択科目（d, e, f, g, h領域）

必要な**認定単位数**は以下の通り

5領域のうち， 3領域以上で，
それぞれが少なくとも 4 単位以上（必ず基本主題を含むこと）

かつ

d, e, f, g, h領域合計16単位以上

その他の科目（i領域）

必ずしも単位は必要ではない。卒業論文・卒業研究は**4 単位まで**申請可能。

総単位

必要な**認定単位数**は以下の通り

総単位36単位以上

申請科目名例一覧

※以下の一覧は申請科目の例です。

認定委員会では、科目名ではなく申請科目の内容で審査を行います。

領域	該当科目例		該当しない科目例	単位
	基本主題	副次主題		
a:心理学概論 心理学を構成する主な領域に関し、均衡のとれた基礎知識を備えるための科目	心理学概論 教育心理学概論 基礎心理学 一般心理学 行動科学概論 行動科学	心理学史 社会心理学概論 学習心理学概論 人格心理学概論 発達心理学概論 臨床心理学概論	特定の基礎領域の特殊講義 特定の心理学学説中心の講義 特定の専門的な講義 心理学でない社会学系、政治学系、哲学系、医学系の間論や行動科学	4単位以上 領域全体で心理学の基礎分野を満たすこと (知覚・認知・学習・記憶・言語・思考・人格・動機づけ・感情・発達・社会行動など)
b:心理学研究法 心理学における実証的研究方法の基礎知識を備えるための科目	心理学研究法 教育心理学研究法 心理学実験法 実験計画法 心理測定法 心理検査法 (人格診断法を含む) 心理統計学 計量心理学 情報処理演習 (心理学実験・調査データ処理に関する講義・実習)	心理学との関連の薄い一般統計学 心理学実験を目的とした情報処理技法 教育評価法 社会調査法 (心理学的内容のもの)	コンピュータ利用のための一般情報処理教育 プログラミング言語実習 社会調査法 (心理学的内容ではないもの) 社会学的研究法	8単位以上 最低4単位分はc心理学実験・実習の単位 (実験的方法で知覚や認知、社会など基本的な内容の課題を4つ以上含む計6課題以上。各課題について標準的レポート*1を作成していること) ※1 各課題について目的、方法、結果、考察を含むものであること
c:心理学実験実習 心理学における実験的研究の基礎を修得するための、心理学基礎実験、実習の科目	心理学基礎実験 心理学実験 心理学実験実習 心理学実験演習 行動科学基礎実験 人間行動学実験実習 教育心理学実験実習 社会心理学実験実習 心理尺度構成法実習 心理検査法実習	臨床心理学実習 心理学実験を対象としたコンピュータ実習 社会調査法実習 (心理学的内容のもの) フィールドワーク実習 (心理学的内容のもの)	実験実習を伴わない講義 実験研究の文献購読演習 講義中にデモンストレーションの実験を行った程度の講義 心理学実験とは関係がない一般的なコンピュータ実習、情報処理法、プログラミング実習や演習 教職関係などの教育実習 病院施設などの現場見学	
基礎科目小計				合計12単位以上

	領域	該当科目例		該当しない科目例	単位	
		基本主題	副次主題			
選 択 科 目	d:知覚心理学・学習心理学	知覚心理学 感覚心理学 認知心理学 学習心理学 思考心理学 認知科学（心理学的立場による）	情報処理心理学 数理心理学 言語心理学 感情心理学 行動分析学	色彩心理学 人間工学	心理学概論 教育心理学概論	5領域のうち 3領域以上で、それぞれが少なくとも4単位以上。 必ず基本主題を含むこと
	e:生理心理学・比較心理学	生理心理学 比較心理学 動物心理学	比較行動学 精神生理学 神経心理学	神経生理学 行動薬理学 動物生態学 行動生理学	一般生理学 動物学	
	f:教育心理学・発達心理学	教育心理学 発達心理学 児童心理学 青年心理学 生涯発達心理学 教育評価 こども学（心理学的立場による） 進化心理学（心理学的立場による）	教育測定 教科学習心理学 教授心理学 学校心理学 発達臨床心理学	教育工学 学業不振児の心理 教師の心理 親子関係の心理	教育学的講義 社会福祉論的講義 心理学者によらない児童学 心理学者によらない老人学 一般心理学 心理学概論	
	g:臨床心理学・人格心理学	臨床心理学 人格心理学 性格心理学 健康心理学 福祉心理学 異常心理学 精神分析学 自我心理学 心理療法 行動療法 カウンセリング 面接技法	児童臨床心理学 障害者心理学 行動障害論 適応障害論 適応の心理 臨床心理学実習 心理検査実習 犯罪心理学 非行心理学 矯正心理学 教育相談	精神医学 行動医学 心身医学 精神保健学	精神病学 薬理学 医学・薬学的講義	
	h:社会心理学・産業心理学	社会心理学 実験社会心理学 集団心理学 グループ・ダイナミクス 心理学の人間関係論 対人関係論 対人行動論 対人認知論 コミュニケーションの心理学 マスメディアの心理学 家族心理学 コミュニティ心理学 環境心理学	産業心理学 組織心理学 労働心理学 消費者の心理 職業心理学 文化心理学 広告心理学 交通心理学 ビジネス心理学 化粧心理学 被服心理学 社会心理学調査実習	社会的な社会心理学 心理学的な労働科学	社会学的視点の環境論、職業論、労働科学、マスコミュニケーション論	
	選択科目小計				5領域計 16単位以上	
そ の 他	i:心理学関連科目、卒業論文・卒業研究	複数の領域に関わる心理学関連科目 卒業論文 卒業研究				卒論は最大4単位
	総計					総計36単位以上